

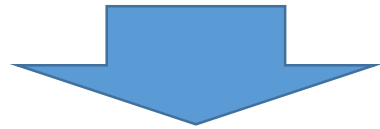
令和5年度 稲津小学校

「命の日」

高学年

平成23年（12年前）

1年生の社会見学のバスが
ガゲから落ちてしまう事故

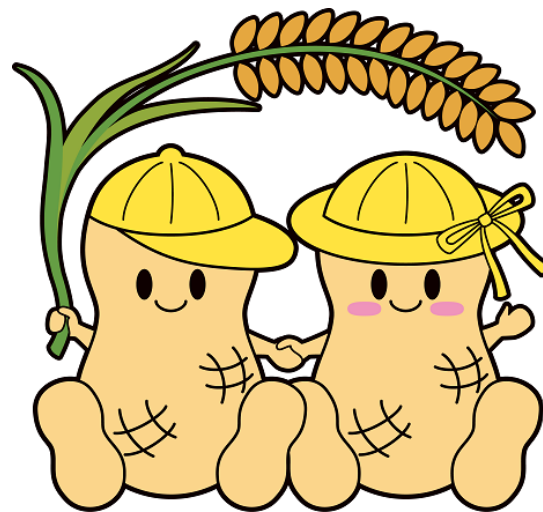


シートベルトをしっかりと
していて全員命は助かった



命の大切さを振り返る日に

令和5年度 命の日
(今年は特別編…)



テーマ

稲津に学校ができて150年

「150年つないだ命・

150年つなぐ命」

江戸時代

明治

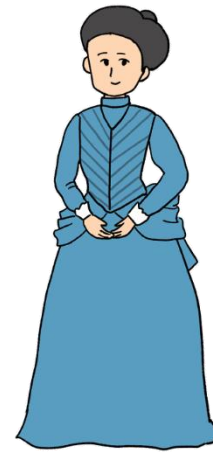
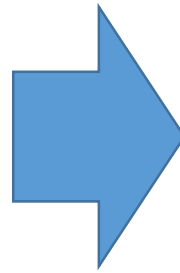
大正

昭和

平成

令和

稲津に学校ができたのは、
明治時代 **明治6年（1873年）**



江戸時代までは...

寺子屋 (てらこや)



読み 書き 計算 (そろばん) を習う

小學入門教授圖解第五

学校



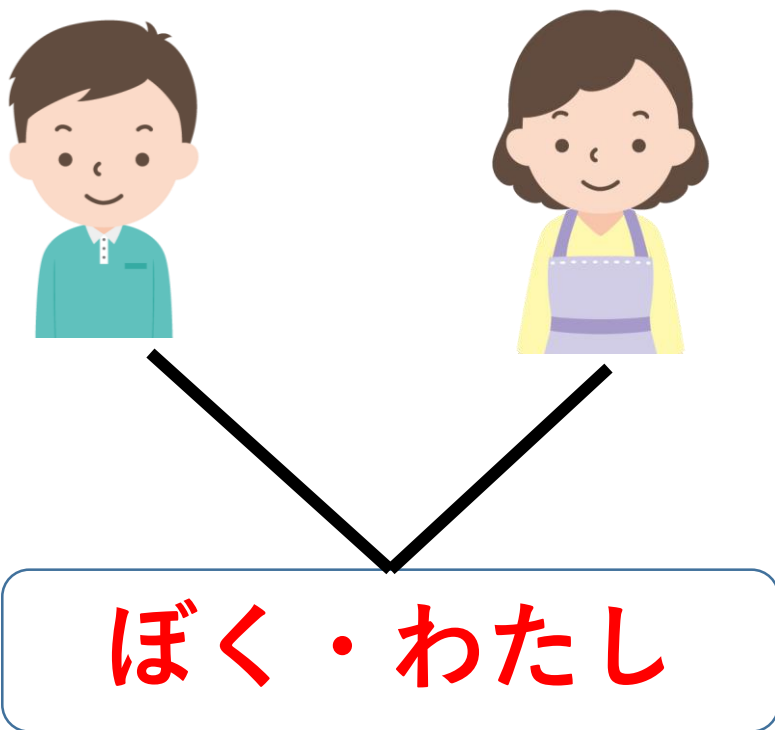
御届明治十年月日
出板人通三目小林鉄次郎

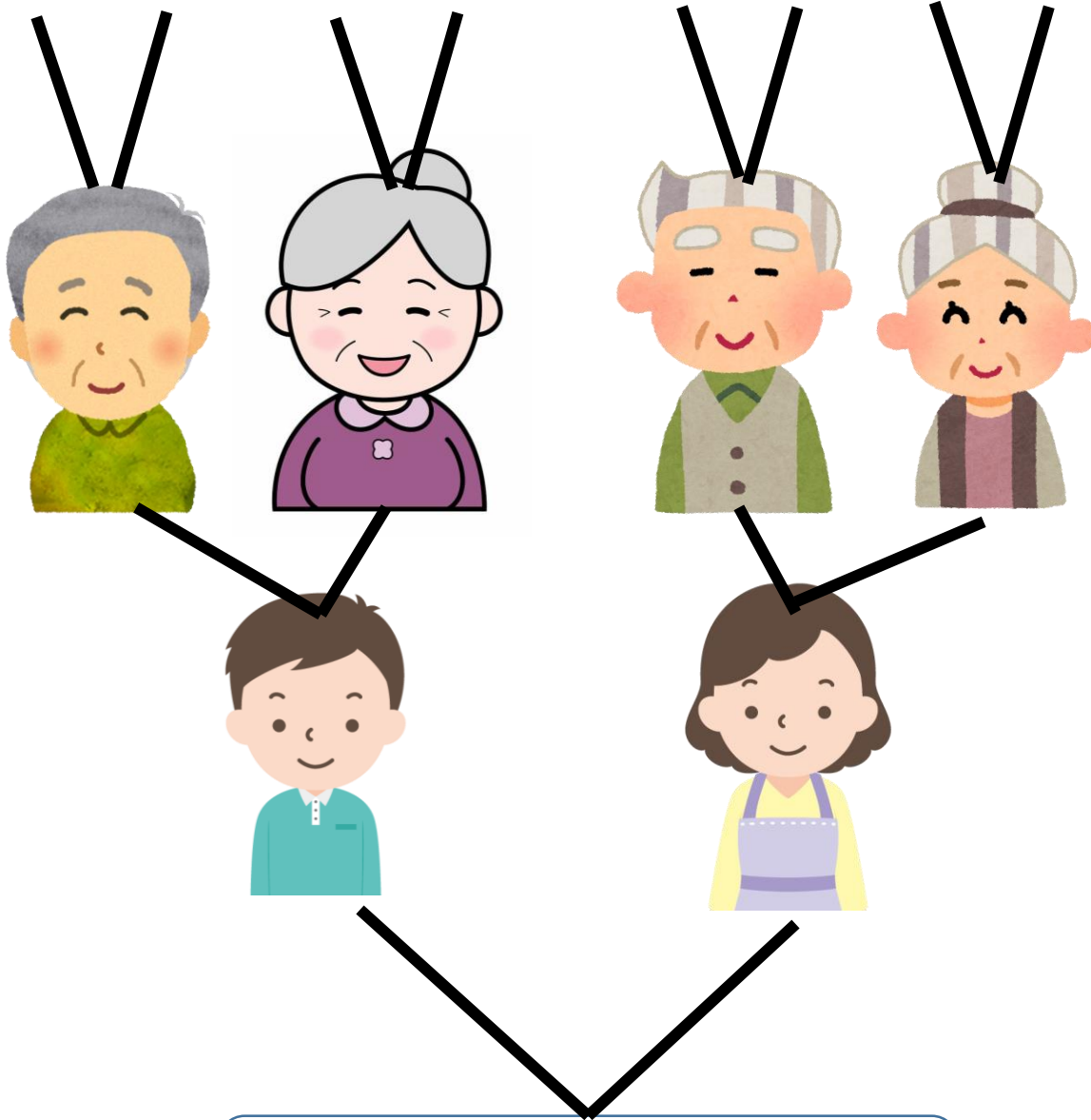
永解
清着

出典：文部科学省ホームページ (http://www.mext.go.jp/)

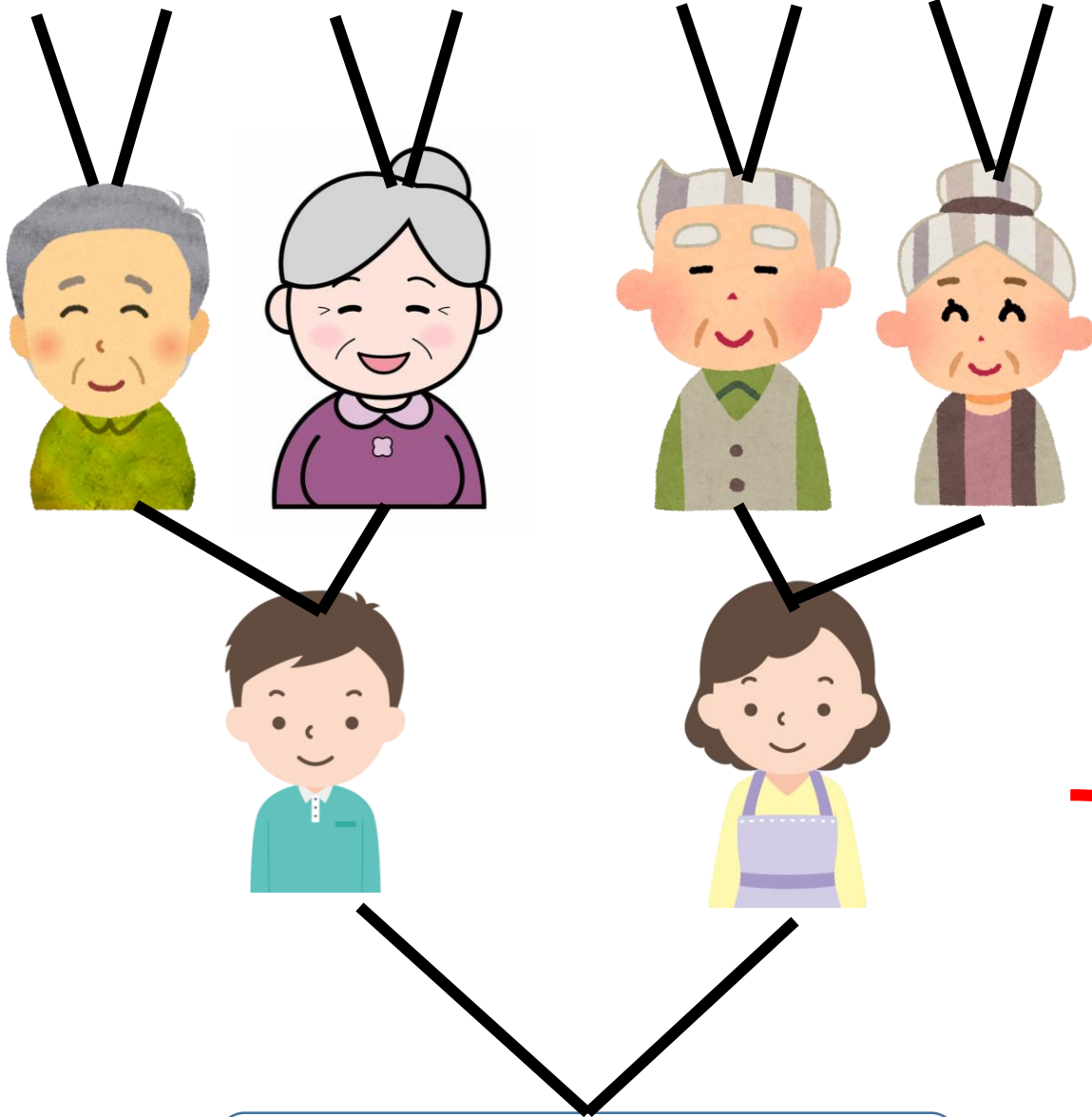
生きるための知識を多く学ぶ

150年を考えてみよう...





ぼく・わたし

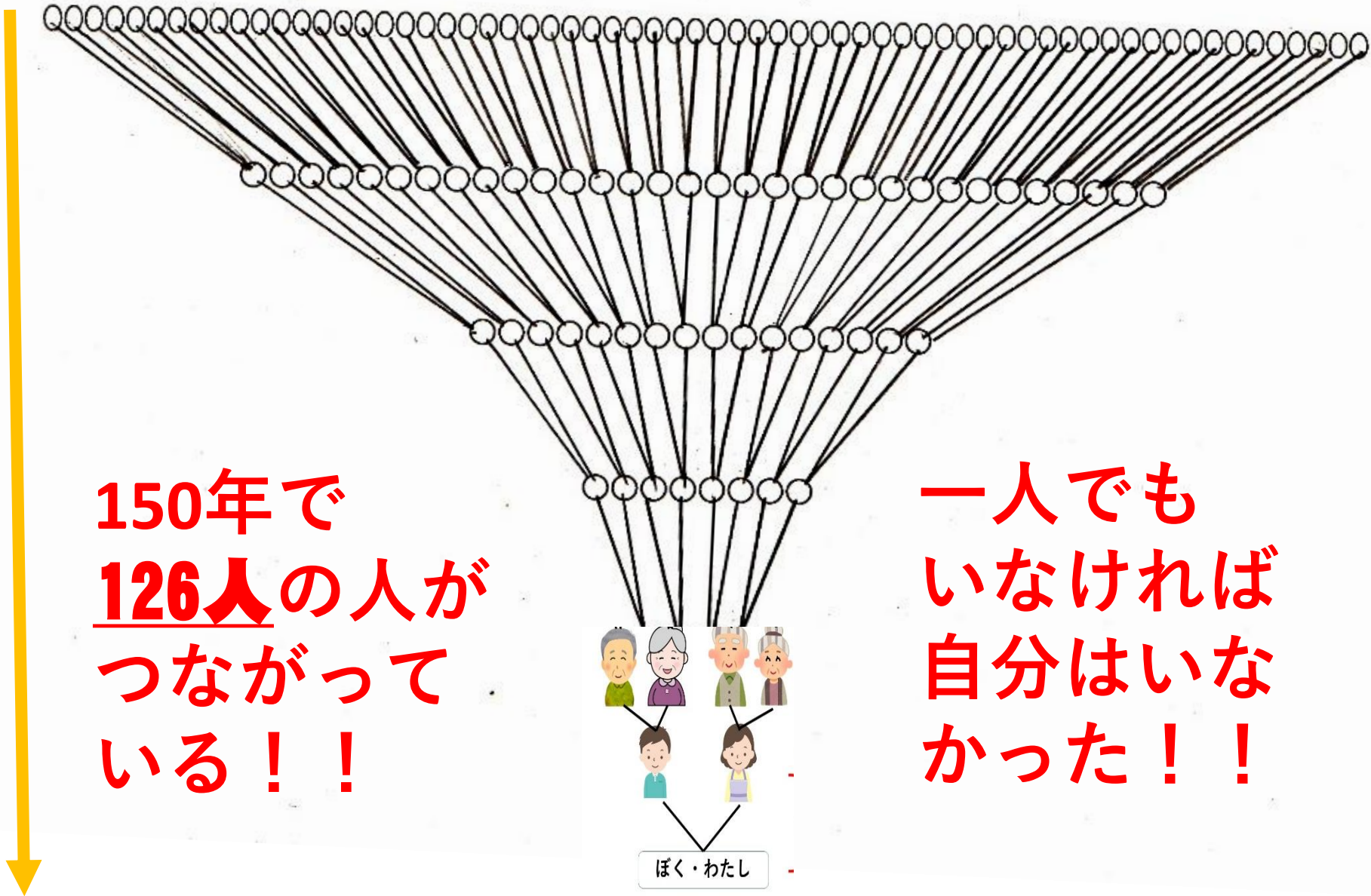


25年～
30年

25年～
30年

25年～
30年

ぼく・わたし



150年で
126人の人が
つながって
いる！！

一人でも
いなければ
自分はいな
かった！！

「生きる」とは
命をつなぐこと



町を作り
生活を豊かにすること



これをずっと続けてきた…

テーマ1

稲津小学校の歴史

土岐郡小里村

土岐郡萩原村

土岐郡稲津村

瑞浪市稲津町

明治22年（1889年）
7月1日
2つの村が一緒に

昭和29年（1954年）
瑞浪市ができ、
稲津村も入る

鎌倉時代・室町時代 このあたり **稲口** **津田** とよばれていた

土岐郡小里村

土岐郡萩原村

明治22年（1889年）

7月1日

2つの村が一緒に

土岐郡**稲津**村

稲口の「**稲**」と津田の「**津**」を
合わせて「**稲津**」と名付けた！

昭和29年（1954年）

瑞浪市ができ、

稲津村も入る

瑞浪市**稲津**町

小里村の学校

150年前
明治6年
(1873年)

興民義校

小里学校

小里尋常小学校

小里尋常高等小学校

萩原村の学校

設教舎

設教学校

萩原学校

萩原尋常小学校

明治40年 (1907年)
8月15日
2つの学校が一緒に

稲津尋常高等小学校

戦争中

稲津国民学校

昭和22年 (1947年) から

稲津小学校

小里の小学校

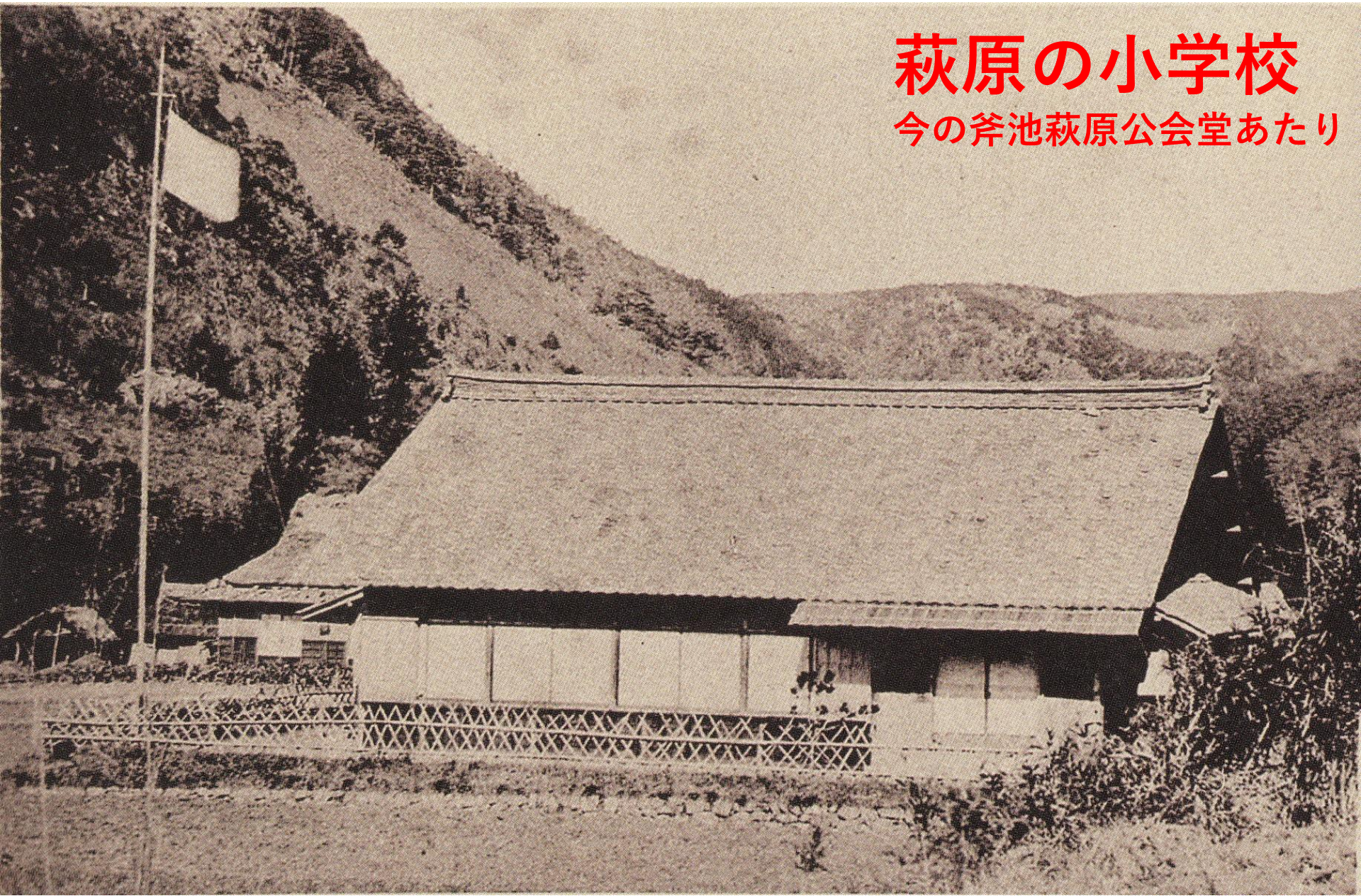
今の神戸公民館あたり





萩原の小学校

今の斧池萩原公会堂あたり



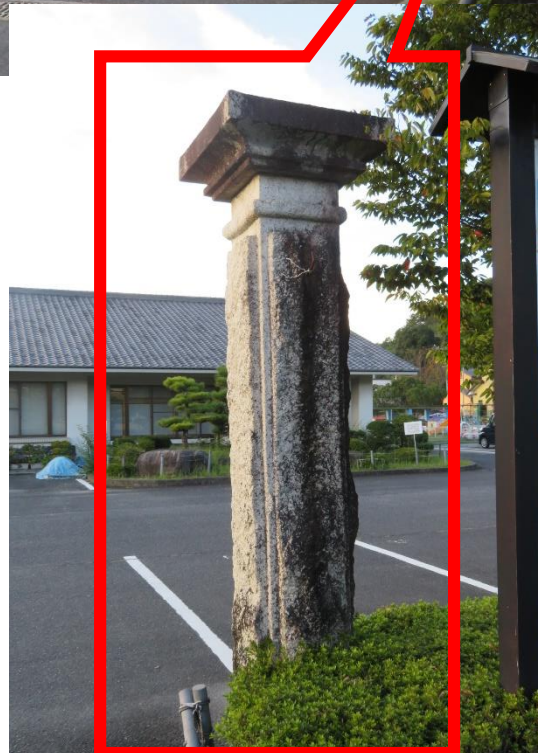
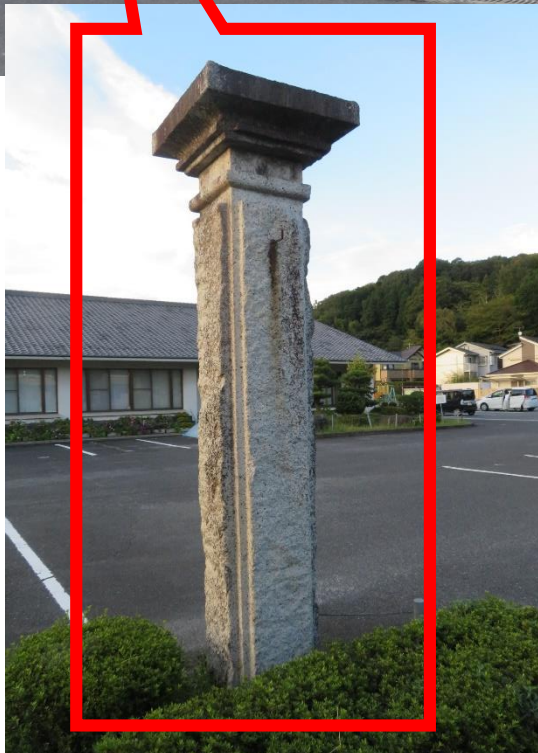


稲津小 前の校舎

大正2年（1913年）完成
今の稲津公民館のところ



大正10年頃の全景



今の校舎

昭和56年（1981年）完成



棚田山









大正2年から昭和56年の1学期まで

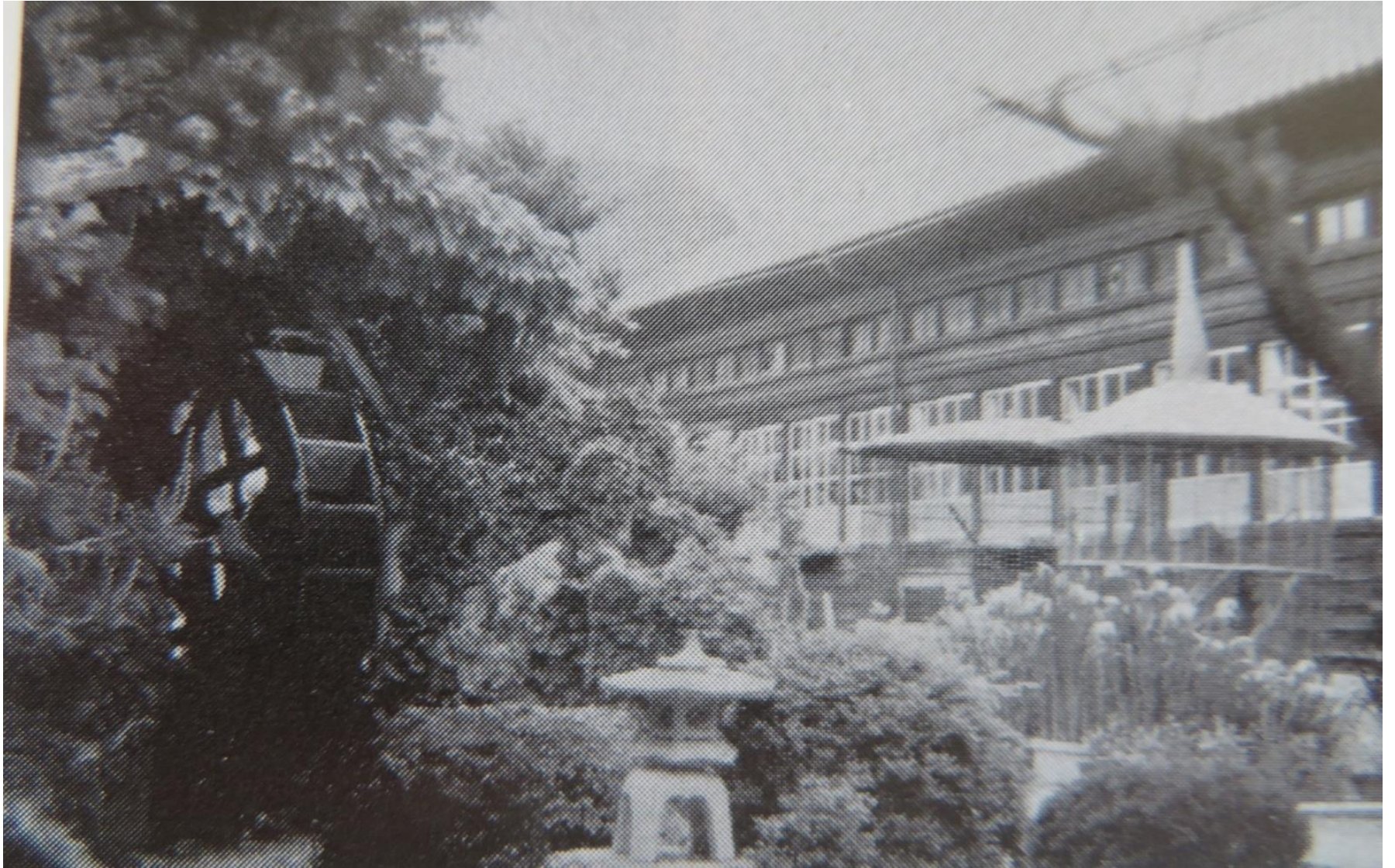


















テーマ 2

稲津町の発展

80～90年ぐらい前（昭和のはじめ）

稲津にロープウェイが通っていた！（荷物用ですが…）



↑瑞浪駅へ

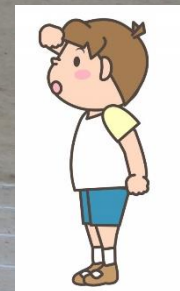
今の稲津公民館の東側

ちょうど
今の稲津小のグラウンドの
上あたりを通過していた!!

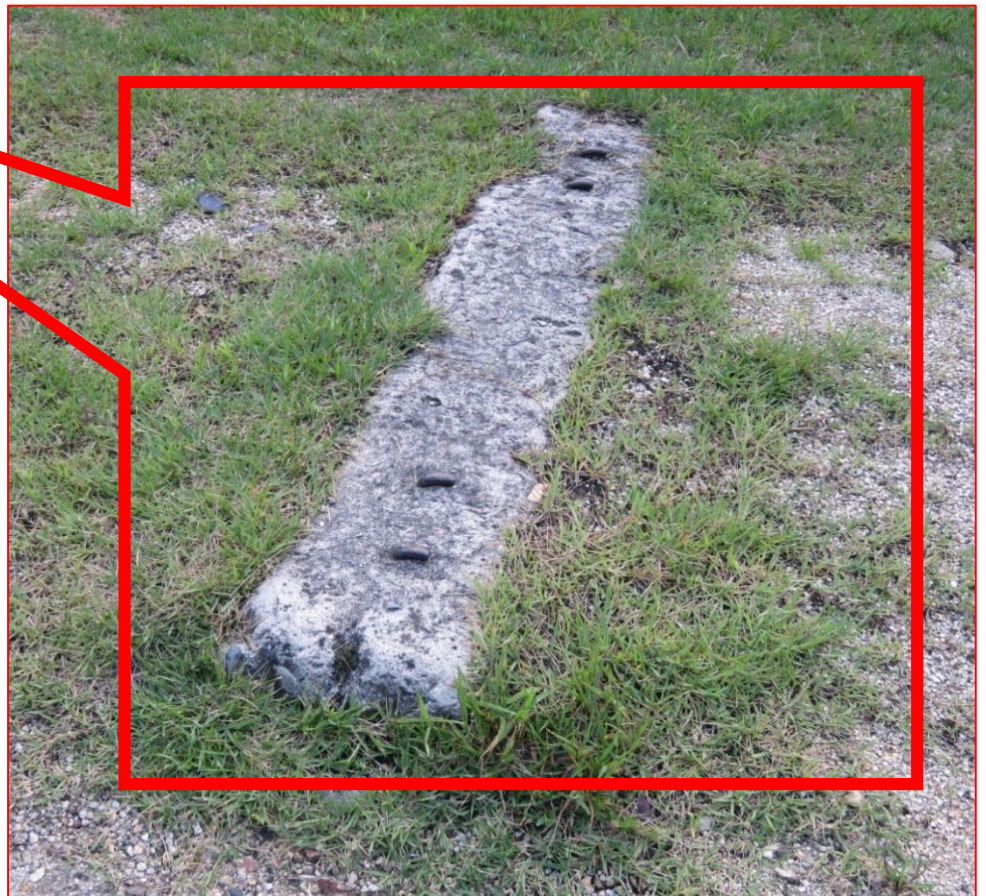
今の川折口バス停の段上

↓陶町へ





今のこっている ロープウェイの 土台のあと



A photograph of a warehouse filled with stacks of white sacks and bundles of hexagonal ceramic tiles. The sacks are piled high, and the bundles are neatly stacked. The text "焼物 (磁器)" is overlaid in red on a white background in the upper right corner.

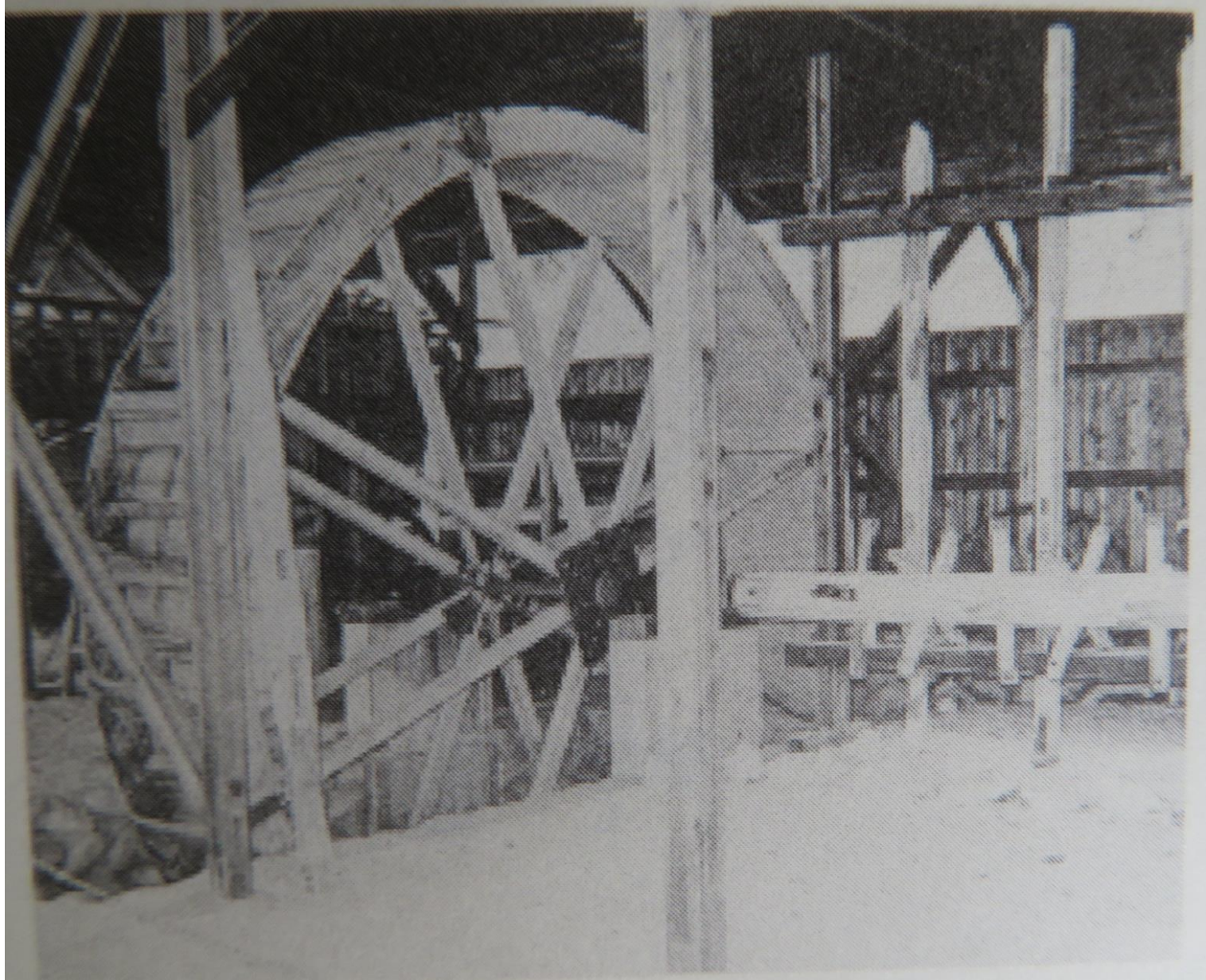
焼物 (磁器)

陶土 (粘土)

この辺りでは、焼物（磁器）になる、よい土が取れた！



千本杵搗水車（せんぼんきねつきすいしゃ）



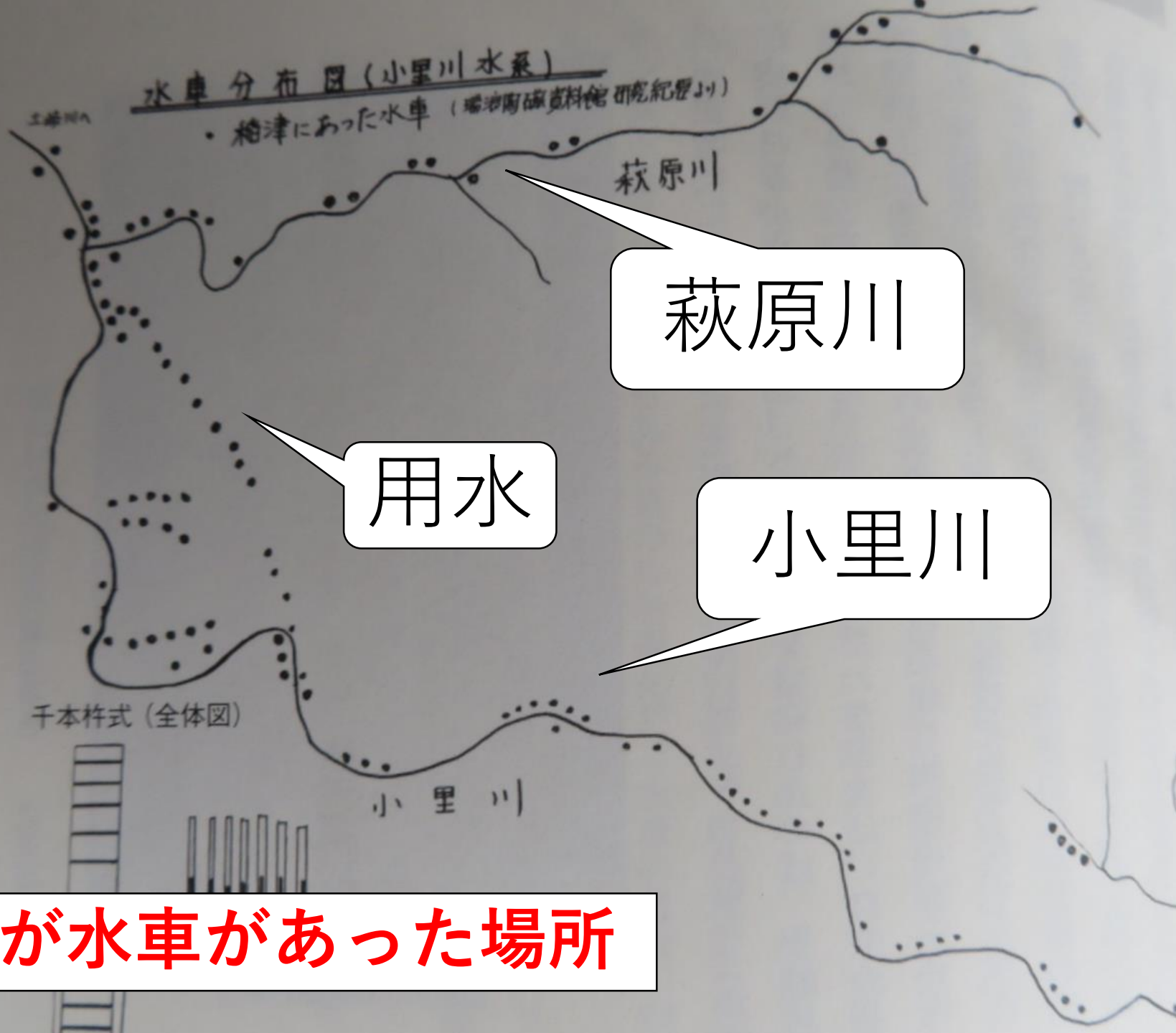
千本杵搗水車（せんぼんきねつきすいしゃ）

市陶磁資料館にある



水車の力で、
きねが
上下する

ここに土を置いて細かくする



萩原川

用水

小里川

- ・ **が水車があった場所**

わだかめえもんみつのり

和田亀右衛門光度 (稲津の庄屋さん)

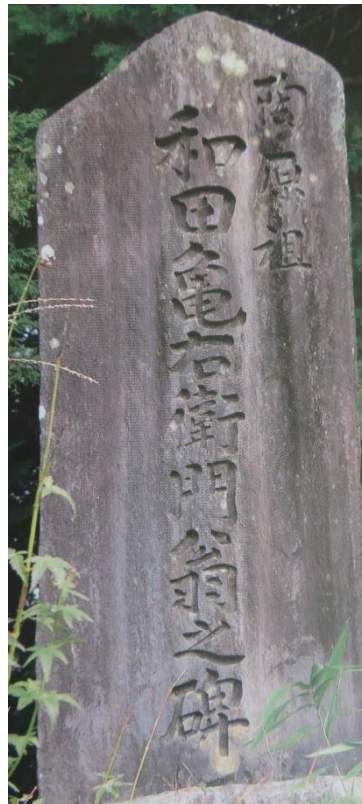
はやしきょうほう

林 恭邦

(第11代 興徳寺のおしょうさん)



里泉焼
(りせんやき)



陶祖碑



用水

焼物と粘土の
生産で町が
豊かに！

焼物（磁器）

陶土（粘土）













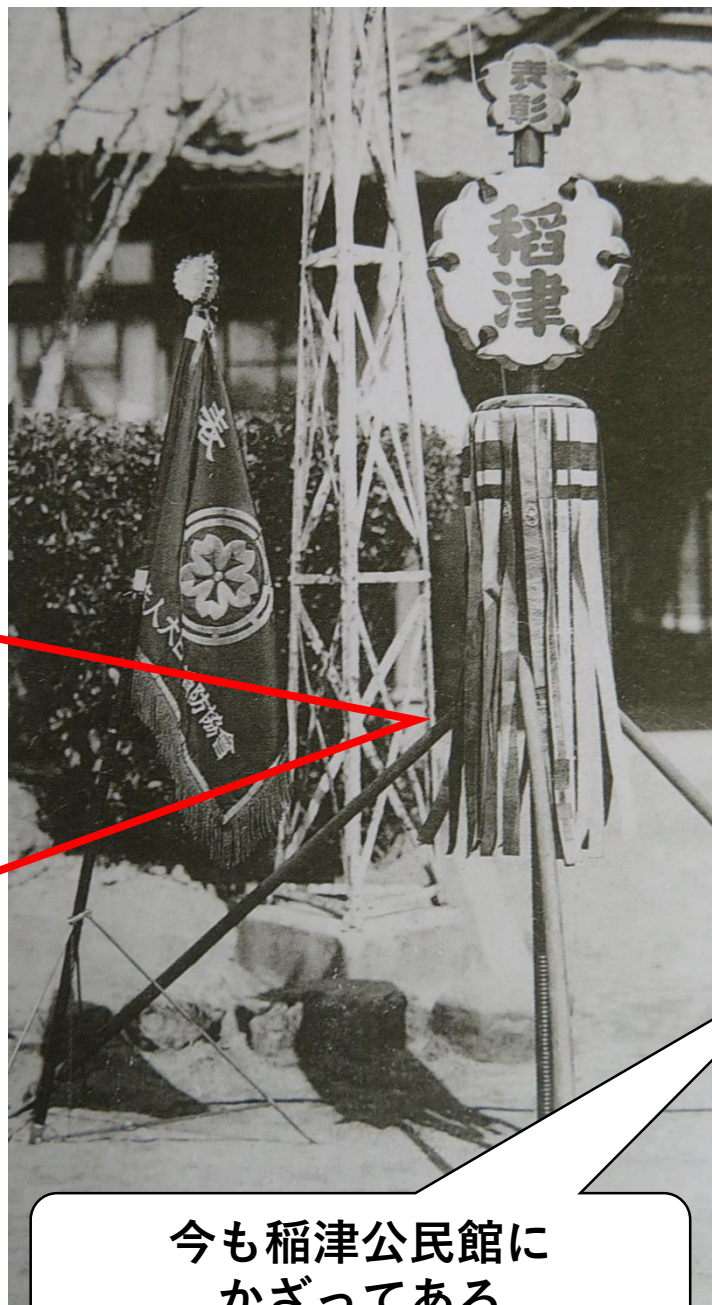
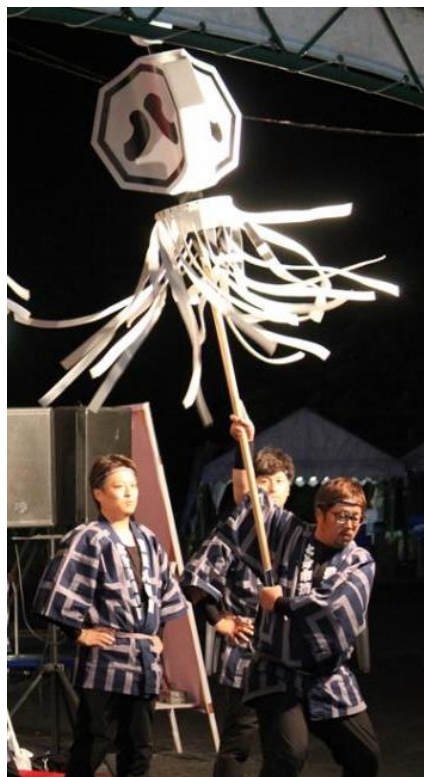
テーマ 3

稲津町の人の心
これからの稲津




町のために働く **消防団** の人々

まとい



今も稲津公民館に
かざってある



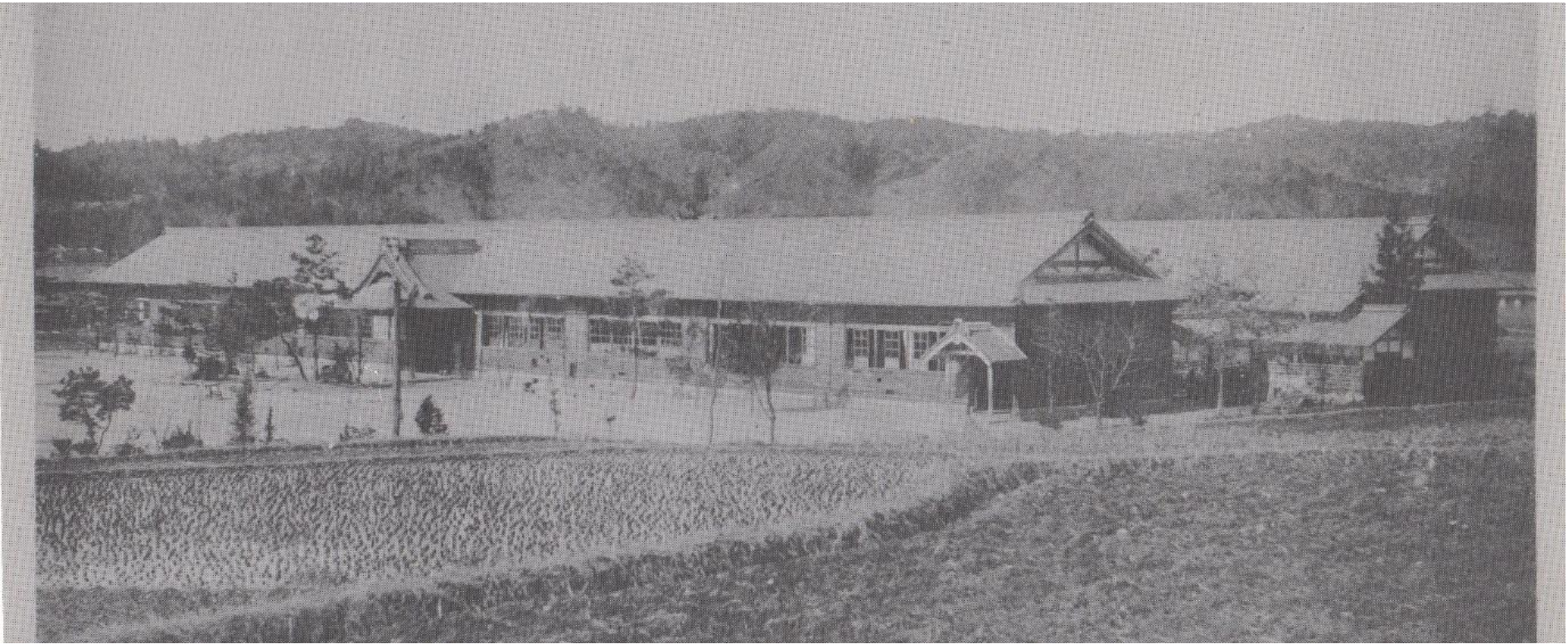


金色の「ばれん」
が3本ついている

優秀な消防団とし
て、国から表彰さ
れた記念品

表彰されることは
めったになく、
とても名誉なこと
だった!!

旧校舎



今のお金で約**120,000,000円**
すべて町の人がお金を出し合って建てた

各地区にある 「村灯籠」 (むらとうろう)



外灯の
ない時代
各地区で
お金をかけ
て建てた

その地区の
シンボル
でもある！

町のために、
力を出しあい、
力を合わせるのが
稲津の人々！



令和5年度 命の日

テーマ

稲津に学校ができて150年

「150年つないだ命・

150年つなぐ命」

おわり

